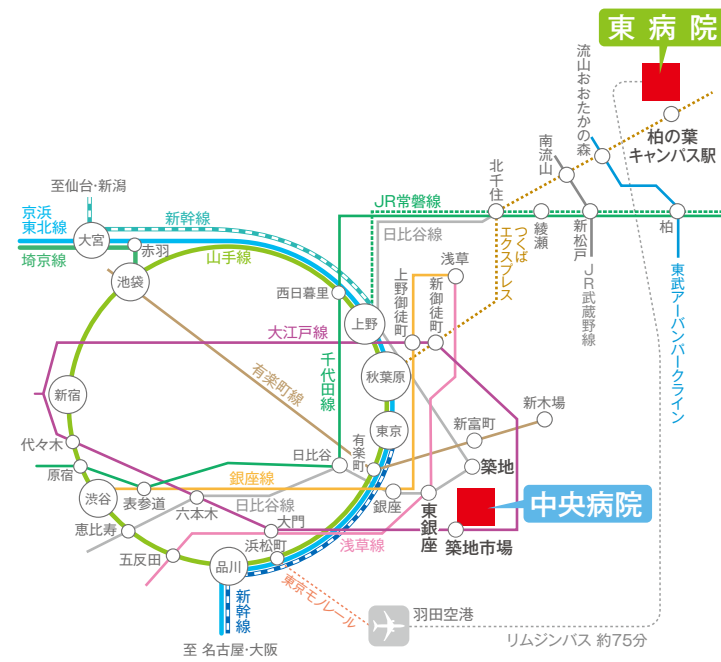
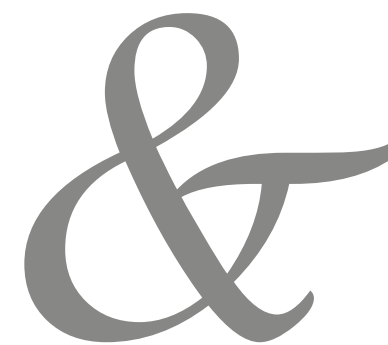


ROUTE MAP



- | | |
|------|--|
| 中央病院 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 都営地下鉄 大江戸線「築地市場駅」A3番出口から徒歩約1分 ○ 東京メトロ 日比谷線「築地駅」2番出口から徒歩約5分 ○ 都営地下鉄 浅草線「東銀座駅」6番出口から徒歩約5分 ○ 東京メトロ 有楽町線「新富町駅」4番出口から徒歩約10分 |
| 東病院 | <ul style="list-style-type: none"> ○ つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅」西口から <ul style="list-style-type: none"> ・ 東武バス「流山おおたかの森駅東口」行、 「江戸川台駅東口(国立がん研究センター経由)」行、 「東大西」行 約6分「国立がん研究センター」下車 ・ タクシー 約4分 ○ JR常磐線・東京メトロ千代田線・東武アーバンパークライン「柏駅」西口から <ul style="list-style-type: none"> ・ 東武バス「国立がん研究センター」行 約30分 ・ タクシー 約20分 ○ 羽田空港リムジンバス「柏駅西口」行「国立がん研究センター」下車 |



共に考え、共に歩む。



National Cancer Center

国立がん研究センター 中央病院

National Cancer Center Hospital

〒110-0045 東京都中央区築地5-1-1 tel.03-3542-2511 (代)

国がん中央 看護部

www.ncc.go.jp/jp/ncch/division/nursing/index.html

国立がん研究センター 東病院

National Cancer Center Hospital East

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1 tel.04-7133-1111 (代)

国がん東 看護部

www.ncc.go.jp/jp/nccce/professional/nursing/index.html



National Cancer Center Hospital & Hospital East

◎ 中央病院を選んだ理由を教えてください。

チーム医療に力を入れていることや、
入職前の実習で見た先輩看護師の姿に、
急性期医療とがん看護の魅力を感じました。



私のご案内します！



中央病院
National Cancer Center
Hospital

大鶴 璃奈
国立看護大学校卒
2018年入職
泌尿器・後腹膜腫瘍科・大腸外科・消化管内視鏡科

私が勤務する病棟は、泌尿器・後腹膜腫瘍科、
大腸外科、消化管内視鏡科の混合病棟で、検査
入院から終末期まで幅広い患者さんが入院されま
す。人工肛門を造設した結果、術後にボディイ
メージの変容で困惑される患者さんも少なくありま
せん。私たち看護師は、患者さんが望む退院後の
生活を過ごせるよう、術前から丁寧にに関わり、医師、
ソーシャルワーカーなど他職種の専門家と協働し、
退院後も見据えた継続看護を実践しています。

当院は、社会と協働し、すべての国民に最適な
がん医療を提供しています。さまざまな専門職から
成るチームで経験を積むことで自分を成長させる
ことができます。私も、将来はチームの中で役割を
発揮できる看護師になりたいと思います。

◎ 東病院を選んだ理由を教えてください。

最先端のがん治療と
歴史ある緩和ケア病棟がある当院で、
がん看護を深めたいと思い入職を決めました。



私のご案内します！



東病院

National Cancer Center
Hospital East

秋吉 佑美
関西医療大学卒
2018年入職
乳腺腫瘍内科・血液腫瘍内科・消化器内科

学生時代、患者さんとの関わりの中でがん看護
を究めたいと思い、がん治療の最先端であり、緩
和ケアで歴史のある当院に魅力を感じました。東
病院は異なる職種間の垣根が低く、専門性の高
いチーム医療に積極的に参加できます。私が属す
る消化器内科病棟には、抗がん剤や放射線など
の治療を受ける方、緩和ケアを受ける方など、さま
ざまな患者さんがいます。専門看護師や認定看護
師の先輩方とも相談しながら、ご本人とご家族の
ニーズに合わせたケアが提供できるよう心がけて
います。また、がん治療と並行し、既往歴に合わせ
た治療を行うため勉強になります。今は毎日精一
杯ですが、さらにはがん看護の理解を深め、“その人
らしく生きる”を支える看護師になりたいです。



国立がん研究センター 中央病院

National Cancer Center Hospital

看護理念

日本のがん医療を牽引する組織の一員として、
社会ニーズを見据えたがん看護の発展に努める

基本方針

- 【実践】社会や患者のニーズに応じた看護実践モデルの推進と創造
- 【人材育成】日本のがん看護を担うリーダーの育成
- 【研究】看護実践の成果を明らかにし、患者および社会に還元できるがん看護を追求する

■ 病院概要

開設年: 1962年
 病床数: 578床
 職員数: 約1,400名
 看護師数: 600名

■ 診療科

脳脊髄腫瘍科	内視鏡科	総合内科
眼腫瘍科	消化管内視鏡	歯科
頭頸部外科	呼吸器内視鏡	麻酔・集中治療科
頭頸部内科	肝胆膵外科	緩和医療科
形成外科	肝胆膵内科	精神腫瘍科
乳腺外科	泌尿器・後腹膜腫瘍科	放射線診断科
乳腺・腫瘍内科	婦人腫瘍科	放射線治療科
呼吸器外科	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	病理診断科
呼吸器内科	皮膚腫瘍科	臨床検査科
食道外科	血液腫瘍科	先端医療科
胃外科	造血幹細胞移植科	
大腸外科	小児腫瘍科	
消化管内科	小児腫瘍外科	

■ 看護体制

- 【看護単位】 一般病棟15看護単位、ICU、手術室、中央材料室、外来2看護単位、通院治療センター、患者サポートセンター
- 【勤務体制】 二交替制
- 【看護配置】 7:1
- 【看護方式】 固定チームナーシング・モジュール型継続受持

■ 看護支援システム

- ① 完全電子カルテシステム
- ② 勤務管理システム
- ③ 物品管理システム
- ④ PHS連動型ナースコールシステム
- ⑤ 搬送システム



エントランス



手術室



ナースステーション



患者サポートセンター

Novel Challenge and Change

革新への挑戦と変革

All Activities for Cancer Patients

職員の全ての活動はがん患者のために！



社会と協働し全ての国民に 最適のがん医療を提供する

1961年に設立された国立がんセンターは、わが国のがん対策のけん引役として、その役割を果たしてきました。2010年には厚生労働省直轄の組織から独立行政法人に移管されて独立行政法人国立がん研究センターとなり、さらに2015年には、国立研究開発法人国立がん研究センターと名称を変更して、より高度な専門医療を担うべく治療の研究開発に取り組んでいます。その最先端の活動は、わが国のみならず、世界から関心が寄せられています。

“職員の全ての活動はがん患者のために!”というスローガンに、国立がん研究センターで働く職員の思いが込められています。一人一人の患者にとって、最良の看護を行うこと。それが私たちの願いであり、使命です。

がん看護の現場から 看護師としての道をはじめるといこと

がんの治療は多様で経過が長期にわたるため、患者は日々の暮らし方からどのような治療を行うかまで、葛藤と選択を繰り返します。看護師には、患者に寄り添い、見守るだけでなく、患者の心や価値観に向き合い、サポートする力が求められます。あらゆる行動は、揺らぐことのない、知識や技術、コミュニケーション力、倫理観などに裏打ちされていなくてはなりません。それはあらゆる看護の現場で必要とされる力であり、看護師として歩む上で大きな力となります。看護師としての一步を、がん看護の現場から踏み出してみませんか？

国立がん研究センター 東 病 院

National Cancer Center Hospital East

看護理念

がんの最先端医療を担う
チームの一員として役割を果たし、
がん看護の発展に努める

基本方針

1. 患者の生命の尊厳と権利を尊重し、信頼関係を大切にした安らぎのある看護を提供する
2. 看護の本質を追究し、科学的・創造的な看護を実践する
3. 臨床研究を推進し、がん看護の新たな情報を発信する
4. がん看護のリーダーとして活躍する人材を育成する

■ 病院概要

開 設 年: 1992年7月
病 床 数: 425床
職 員 数: 約1,030名
看 護 師 数: 480名

■ 診療科

頭頸部外科	乳腺・腫瘍内科	脳神経外科
頭頸部内科	乳腺外科	皮膚科
形成外科	泌尿器・後腹膜腫瘍科	婦人科
消化管内科	血液腫瘍科	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科
肝胆膵内科	消化管内視鏡科	歯科
食道外科	放射線診断科	眼科
肝胆膵外科	放射線治療科	小児腫瘍科
大腸外科	緩和医療科	先端医療科
呼吸器内科	精神腫瘍科	遺伝子診療科
呼吸器外科	麻酔・集中治療科	病理診断科

■ 看護体制

【看護単位】 一般病棟8看護単位、ICU、緩和ケア病棟
手術室、中央材料室、
外来、通院治療センター、内視鏡センター
【勤務体制】 二交替制
【看護配置】 7:1
【看護方式】 固定チームナースング・受け持ち看護師制

■ 看護支援システム

- ① 完全電子カルテシステム
- ② 勤務管理システム
- ③ 物品管理システム
- ④ PHS連動型ナースコールシステム
- ⑤ 搬送システム



エントランス



緩和ケア病棟デイルーム



ナースステーション



入院準備センター

がん医療・研究をリードする

国立がん研究センターを支える3つの柱



□ 最先端医療

世界最高水準のがん医療とがん看護を提供

国立がん研究センターは、手術療法、化学療法、放射線療法、内視鏡治療など、世界のがん医療の最先端治療を提供し、わが国のがん医療をリードしています。常に世界最高のがん医療を追い求めつつ、エビデンスと経験に基づいた治療やケアを行う医師や看護師とともに、最先端で質の高い看護技術と知識を身につけ、経験を積むことができます。がんに関する政策提言も当センターの重要な役割であり、看護部もその一翼を担っています。

□ 研究・開発

日本発の医薬品・医療機器の開発を推進

当センターは、国際水準の質の高い臨床研究や難病などの医師主導治験を推進する臨床研究中核病院に指定されており、日本発の革新的な医薬品・医療機器を開発するための早期臨床試験やゲノム医療の臨床応用などを積極的に実施しています。患者の苦痛を軽減するがん看護、支持療法などの研究・開発も、当センターの重要な使命です。最先端のがん看護現場で働きながら、新たな治療や看護の研究・開発に関わることができます。

□ 教育

日本のがん医療・看護をけん引する人材を育成

全国から広く医療従事者を受け入れ、日本のがん医療・看護をけん引する人材を育成するのも当センターの使命の一つです。また、各地域のがん医療の中心となるがん診療連携拠点病院に対して専門的な技術研修を実施し、がん医療の均てん化に努めています。がんチーム医療における他の専門職者との連携や協働を通して、がん看護における高度臨床実践能力を獲得できるよう、主体的に考えリードする人材を育成しています。

専門家チームで多角的に患者をサポート

チーム一丸となった治療・看護が日常的に行われるなか、特徴のあるチームを紹介します。



患者サポートセンター

患者サポートセンター サポーターケアセンター

初診から患者・家族の治療と生活を支援

看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士、リハビリ職種、医師などが連携して、治療と療養が円滑に進むように患者・家族をサポートするセンターです。看護師は患者・家族の苦痛の軽減に努めるとともに、仕事・学業、妊娠・出産など、ライフステージに応じて生まれるさまざまな悩みやニーズ、経済的課題を整理し、専門家と連携して社会的・精神的な支援を行います。



入院前の説明を行う看護師

入院準備センター

外来から入院後まで、継続し支援を実施

入院前から、患者・家族が安心して治療に専念でき、療養生活のイメージが持てるように、医師や看護師、医療ソーシャルワーカー、リハビリテーション、薬剤師、栄養士など、多部門で連携し支援を行います。患者の状態を事前に把握し、治療に向かう心と身体の準備、仕事・療養環境の調整、治療やその後の生活に必要な物品の準備などを説明します。さらに入院病棟とも情報共有することで、心配事の相談や療養生活についての支援を個別、かつ継続的に行っています。



緩和ケアチーム主導カンファレンス

緩和ケアチーム

診断時からの緩和ケアで苦痛を軽減

がん患者とその家族に対し、医師・看護師・薬剤師・栄養士・心理療法士・ホスピタルプレイスタッフ・鍼灸師などで連携して緩和ケアを提供します。身体的症状(痛み・悪心嘔吐・呼吸困難・倦怠感・浮腫など)や精神的症状(不安・せん妄・不眠など)のマネジメントのほか、意思決定支援、スピリチュアルペイン、介護者サポート、療養相談、医療者支援、緩和ケアの普及啓発・教育活動などを行います。

RST(呼吸サポートチーム)

人工呼吸器の離脱と早期回復を後押し

医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士が連携して、人工呼吸器の適切な管理や呼吸ケアを行うチーム(RST)です。主に、人工呼吸器を装着している患者を定期的に回診し、ミーティングを重ねつつ、人工呼吸器の離脱と早期回復が図れるようにケアしています。看護師は、患者を尊重し回復後まで見据えたケアがなされているか確認するとともに、チームの調整役も果たしています。



RSTによる回診

治験・臨床研究

新しいがん医療の発展に貢献

当センターは、より優れた医療技術をいち早く患者に届けるための治験・臨床研究を行なっています。看護師は医師・臨床研究コーディネーター(CRC)・薬剤師など多職種と協働し、研究計画を遵守した投与や観察、意思決定支援を行うことで、確実な研究推進に寄与しています。研究に参加している目の前の患者への看護が、将来、患者へより良い医療を届けることにつながっています。



治療計画を確認する看護師とCRC

AYA世代がん患者サポート

思春期や若年成人世代のがん治療を支える

AYA(アヤ: Adolescent & Young Adultの略)とは思春期/若年成人世代を指し、日本では15~39歳が該当します。15歳未満の場合、小児がんと成人がんの双方に発症の可能性があり、肉腫・血液がんなどAYA世代に多いがんも存在します。患者自ら、ライフステージに応じて大切なことを決め、自分らしく歩むために、多職種チームでサポートを行っています。「AYAひろば」という患者同士の交流の機会も大切にしています。



「AYAひろば」での交流



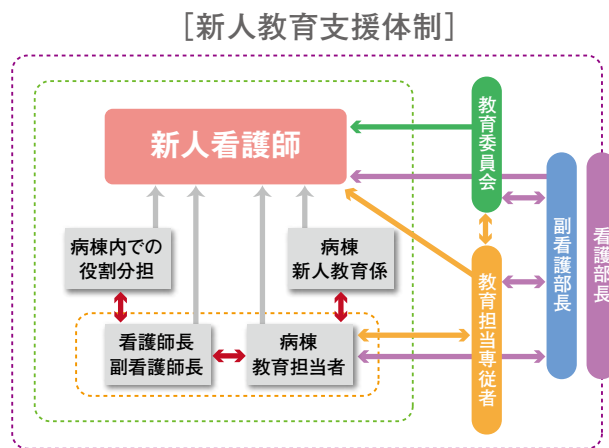


「ベーシック教育」と「がん看護専門教育」でがん看護の実践力が高い看護師を育成する

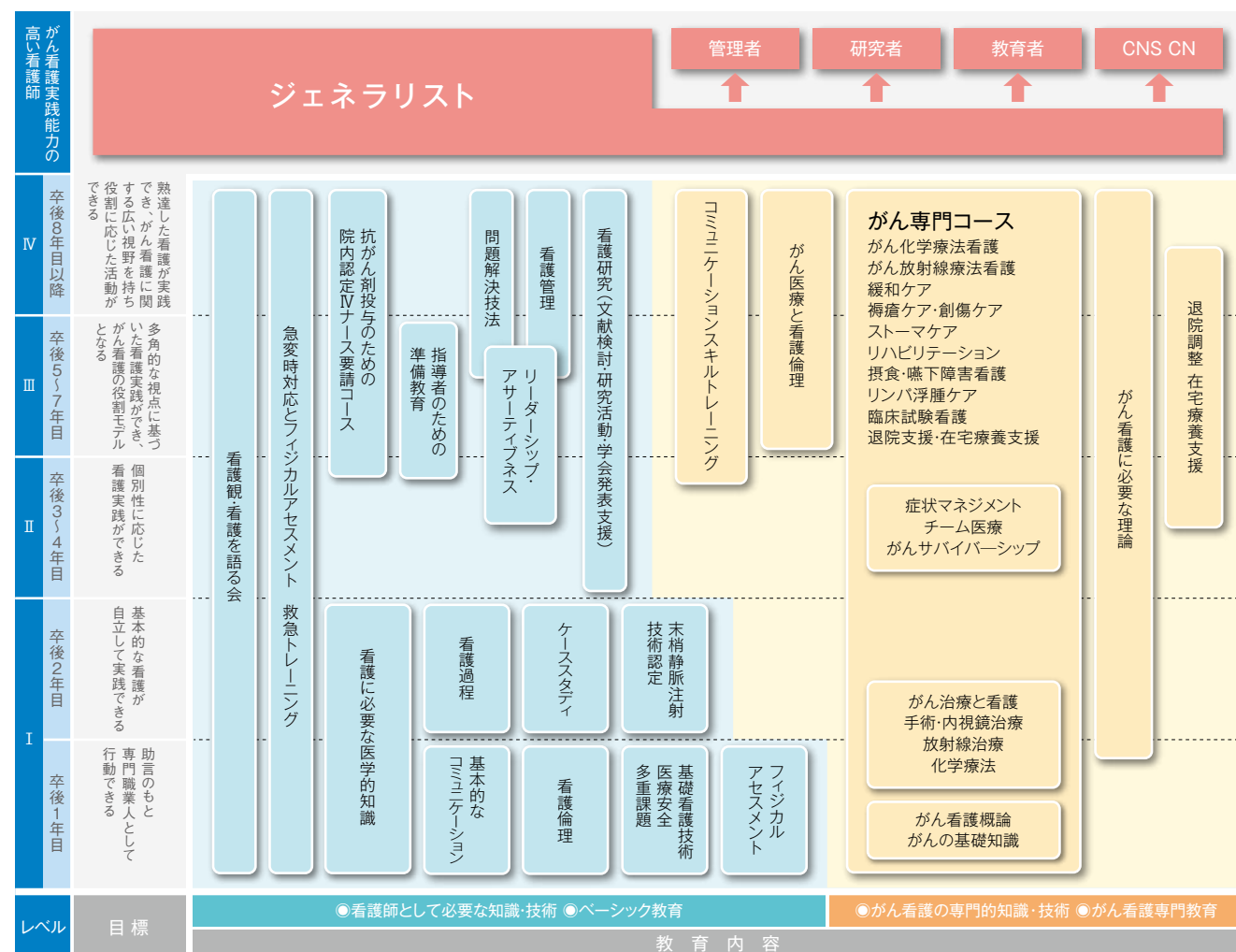
多角的な研修と安心の新人教育支援体制

看護師として一人前になるための能力を身につけつつ、がん看護の専門教育を受けることができるのが、当院の教育プログラムの特徴です。多角的な研修により知識や技術を磨きながら、実際のがん患者さんへのケアを通して、段階的に自分の看護実践力にしていけることができます。

また病棟では、看護師長、教育担当副看護師長、教育担当者をはじめ、病棟スタッフ全員が役割を担い、新人看護師を育てています。



[中央病院・東病院 共通プログラム]



中央病院・東病院 教育制度に関するQ&A

Q1 院内教育はどうなっているの？

A1 院内教育の目的は、がん看護に関する高い実践能力を持った看護師を育成すること。そして、がん看護はもちろん、医療に関する基本的な知識・技術を備

え、豊かな感性で患者さんや対象を捉えて支援できる看護師の育成を目指しています。

Q2 がん看護だけを特化して学ぶの？

A2 いいえ。集合教育は、「ベーシック教育」と「がん看護専門教育」の二本立てで教育プログラムが組まれています。「ベーシック教育」で、基礎看護技術やフィジカル

アセスメントなど、臨床実践の現場で求められる基本的知識や技術を身につけつつ、「がん看護専門教育」で、質の高いがん看護実践能力を高めることができます。

Q3 技術だけでなく、看護師として必要な能力を身につけられますか？

A3 「ベーシック教育」では、看護に関する基礎的な知識・技術の教育はもちろん、リーダーシップ・メンバーシップなど、チームで医療を行う上で大切なコミュニケーション能力や管理能力を身につける教育を行っています。また、さまざまな年代の看護師が集う「看護を語る会」を1年に数回開催。新たな気づきを得ることができ

るようサポートしています。なにより、看護をする日々のなかで、がん患者さんがさまざまな困難を乗り越え、その経験を自分の力に変えていく姿に触れることは、自己の看護観を養うことにつながっています。



Q4 新人看護師にはたくさんの研修がありますね

A4 新人看護師の4月は定期的に基礎看護技術研修を行い、業務に適用するための基盤をつくることに力をいれています。臨床の先輩看護師から直接学ぶよい機会です。その後もたくさんの研修を通して

技術を学んでいきます。院外の施設を使ったシミュレーション型の研修も実施。研修で同期と再会する機会は、新人特有のリアリティショックを緩和する効果もあります。

Q5 3年目以降の看護師にも教育制度はありますか？

A5 基礎的な研修が終わった中堅看護師には、多角的な視点に基づいた看護実践が求められます。「がん看護専門コース」など、個々の目標に応じた教育プログラムを選んで、知識・技術を発展することが可能です。

また、管理的視点を養うための研修やテーマパークを利用した人材育成研修も実施。指導者育成や看護研究を支援する研修を実施しています。

Q6 将来に向けた教育支援はありますか？

A6 進学や外部研修の受講など、キャリアアップへの支援を行っています。(詳しくはP14) 東病院では、2013年に認定看護師教育課程緩和ケア分野が開講し、2016年にはがん化学療法看護分野

が開講。仕事を辞めずに働きながら研修に参加することができ、修了後は、日本看護協会の認定審査受験資格を得ることができます。入学希望者は、院内教育などで教育的サポートを受けることができます。



原 真由美
教育専従看護師長

一瞬一瞬の積み重ねが、1日、1年の成長につながる

• 新人看護師 萩 彩乃さんのある1日



萩 彩乃
中央病院 造血幹細胞移植病棟
長崎大学卒
2019年入職

08:15

寮を出て隣接する病院に出勤

中央病院の場合、寮は病棟の敷地内にあるため、家を出てから出勤まではあっという間。でも病棟に一步入れば仕事スイッチが入ります。

08:30

準備をして患者さんの情報を収集

受け持ちの患者さんの疾患や、今日行う治療のこと、採血データなどを確認して、その日1日のスケジュールを組み立てます。



08:45

「申し送り」で看護師同士が情報を共有

「申し送り」とは看護師同士の情報共有のこと。夜勤の看護師から患者さんの夜の様子を引き継ぎます。全体の申し送りの後には、その日のペアとなる看護師と情報共有を行います。このように細やかな情報共有を行い、日々看護師同士で協力しながら働いています。

09:00

点滴や薬の準備など日勤が始動

申し送りが終わると、それぞれの持ち場について仕事を進めます。移植病棟に勤める私は、その日必要な点滴の準備に取り掛かります。



抗がん剤の投与について、マニュアルでしっかり学んでいます。



15:00

カンファレンスは情報共有と勉強の時間

最近変化のあった患者さんや、対応・ケアを検討する必要がある患者さんについて話し合います。新人看護師にとっては、不足している知識や経験を補うことのできる勉強の場でもあります。

16:00

翌日の検査や治療の予定などを電子カルテを用いて確認。ペアの先輩看護師と残務の確認を行い、先輩のフォローを受けながら進めていきます。



17:15

日勤から夜勤へバトンタッチ 今日勤務が終了

日勤から夜勤への申し送りをし、患者さんの情報を記録したら今日の勤務は終了です。



14:00

検温の時間は患者さんとの対話を大切に

1日4回検温に回ります。症状を観察するだけでなく、食事や内服などのセルフケアにどう影響を及ぼすのか、少しでも苦痛を緩和するにはどうするかなど、患者さんとの対話を通じて日々アセスメントをしながら関わります。自分では判断できないことも多いため、適宜先輩に報告や相談をすることも重要です。

12:00

職員に人気の食堂で同僚とランチ

12時～14時の間に順番にランチ。私はお弁当を作ってきたり、院内のコンビニを利用するなど、休憩室で過ごすことが多いですが、今日は19階の職員用食堂へ。バイキング形式のランチは、おいしくて野菜もたくさん取れるので人気があります。

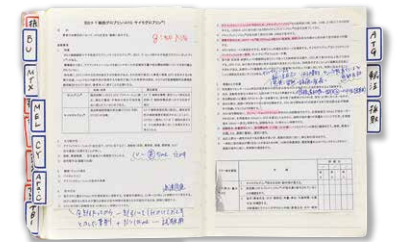


10:00

患者さんの様子を確認。新人は大体4人の患者さんを受け持ちます。突然の発熱などの状態変化が多く、検査や点滴が追加となることもあるため、適宜スケジュールを見直しながら対応します。



病棟でよく用いる薬剤や抗がん剤の投与マニュアル、看護技術の手順などをメモしたノート。いつでも見返せるようにポケットに入れてあります。



中央病院・東病院 入職後1年間の流れ

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<input type="checkbox"/> 入職オリエンテーション <input type="checkbox"/> 基礎看護技術研修 社会人生活や、業務を覚える時期。研修もスタートします。	<input type="checkbox"/> 1か月の振り返り がんの基礎知識、治療と看護など、研修で初歩的な知識・技術の習得します。	<input type="checkbox"/> コミュニケーション研修 夜勤のトレーニングも開始します。	<input type="checkbox"/> 多重課題 <input type="checkbox"/> リフレッシュ研修 順次、夏の休暇を取得！	この頃から夜勤の独り立ちができるように。	<input type="checkbox"/> フィジカルアセスメント <input type="checkbox"/> リフレッシュ研修	<input type="checkbox"/> 看護過程の展開 それぞれ受け持ち患者の看護を始めるのがこの頃から。	<input type="checkbox"/> がん治療と看護	<input type="checkbox"/> 看護観・死生観	<input type="checkbox"/> 1年の振り返り <input type="checkbox"/> リフレッシュ研修 <input type="checkbox"/> シミュレーション研修	そして次のステージへ!!	
夜勤シャドー			夜勤トレーニング 救急トレーニング		夜勤開始						
基準・手順に基づいた技術実践演習											



看護師としての多様なあり方や キャリアアップを支援する研修制度



目指す姿に応じた支援があります。

□ 大学院進学

大学院進学者向けの休職制度があり、学業・研究支援を行っています。休職中に給与の一部が支給される制度もあります。

□ 海外研修

がん看護専門プログラムを受講し、病院実習が可能な語学力があれば、海外のがん専門病院などの研修に参加できます。

□ 院外研修

認定看護師教育課程、実習指導者講習会など、院外で研鑽を積み研修への参加を積極的にバックアップしています。

□ 研究支援

看護部には研究支援チームがあり、新たながん看護・支持療法などの研究がスムーズに進められるよう支援しています。

堀口 沙希

中央病院中央病院
国立看護大学校在学中
国立病院機構
災害医療センター附属
昭和の森看護学校卒
2005年入職



専門的に学び、AYA世代の患者さんを支えたい

私は中央病院へ入職後、看護師経験8年目で子どもを出産、育児休暇を取得後、乳腺・腫瘍内科/脳外科の病棟へ配属となりました。病棟では、思春期・若年成人期(AYA世代)の患者さんたちが、治療による副作用等の有害事象や社会からの孤立感、希少がんへの不安感に苛まれながら過ごす姿を目の当たりにしていました。どのような看護支援が適切か、私自身戸惑いながらも、病棟の仲間とともに、AYA世代の患者さんが感じる苦痛について研究に取り組みました。さらに研究する力を高め、研究内容を臨床に活かしたいと考え、大学院進学を志望しました。育児中にも関わらず、進学を応援してくれた中央病院には感謝しています。今後は、AYA世代の患者さんたちがいつもの日常生活を送りながら、がん治療を継続できるような看護支援を目指しています。臨床現場から発信を続ける、そんながん看護専門看護師になりたいと思います。

平野 勇太

東病院
がん看護専門看護師
東京大学大学院修了
山口大学卒
2009年入職



海外研修や大学院進学で、がん看護を究める

私が東病院への就職を決めた理由は、がん看護を専門に看護実践を行いたかったこと、大学院進学や海外研修制度があったことの2点です。実際に米国のメイヨークリニックで研修を受け、翌年には大学院へと進学し、医療の発展に必要な研究手法を体系的に学ぶことができました。がん看護専門看護師の資格を取得した後は、東病院の緩和ケアチームの一員として勤務しながら、「がん治療中の患者が、治療前と同じ活動量を維持するために、どのような医療的支援が効果的なのか」をテーマに研究を継続しています。海外と比較することで、日本の看護体制の良い点や課題に気づくことができます。東病院には経験豊富な先輩が多く、海外研修や大学院進学に必要な準備や勉強法についての助言をいただくことができ、心強かったです。がん看護に関心のある方やキャリアアップを考えている方に、ぜひ仲間になってほしいと思います。

子育てをしながら働くための さまざまなサポート体制



小田 夏実

東病院 内視鏡センター
筑波大学大学院修了
国立看護大学校卒
2005年入職



子育てをしながら、未来の治療を創造する

現在、8歳長女と2歳長男の子育てをしながら、内視鏡センターで副看護師長として働いています。「育児時間」制度を利用し、週5日・1日6時間45分で勤務。平日は朝6時に起床、長女を小学校へ送り出し、長男を保育園に預けた後、9時から仕事。終業後は、学校・保育園へお迎えに行き18時ごろ帰宅する毎日です。内視鏡センターでは検査・治療だけでなく、新たな機器・治療法開発のための臨床試験も行っています。他職種との調整や介助は多くの知識・技術を必要としますが、最先端の現場で未来の治療を創る仕事にやりがいを感じます。子育てと仕事を

両立できるのも、育児支援体制が充実しているからこそ。子育て支援ミーティングなどの場で、先輩看護師と日々の悩みや喜びを共有できることが私にとって大きなサポートとなっており、子育てをしながらキャリアアップしていく自信につながっていると感じます。母という役割を得たことで、私自身の考えや視野が広がり、患者さん・ご家族に対しより深い理解や共感ができるようになりました。日々成長する子どもたちの姿や笑顔に元気をもらいながら、仕事をがんばることができます。

働きやすい職場づくりのための充実した支援

育児時間・育児短時間

「育児短時間」は小学校3年生以下の子どもを育てている職員を対象に、週19時間25分～24時間35分の短時間勤務を認める制度。「育児時間」は未就学児を養育する職員に勤務時間の短縮を認める制度です。勤務時間は、基本的に本人の希望で選ぶことができます。当センターには、育児休業制度やこれらの制度を利用し、子育てをしながら責任のある仕事を任せたり認定資格を取得したりしている先輩看護師が大勢います。



子育て支援ミーティング

子育てをしながら働くママ看護師、妊娠中や育児休業中の看護師が集まって、子育ての悩みを共有したり、先輩ママ看護師の話を聞いたり、情報交換などができる子育て支援ミーティングが年2～3回開催されています。ミーティングには、各病棟の看護師長なども参加し、職場全体で育児中の看護師を支援する体制づくりを行っています。ミーティングで先輩ママ看護師に励まされ、仕事復帰への一歩を踏み出せた看護師も少なくありません。



24時間対応 院内保育園

中央病院、東病院には24時間対応の院内保育園が併設され、0歳～6歳児の保育を行っています。職場に隣接しているので子どもの具合が悪いときにはすぐに様子を見に行けて安心です。職員の子どもならいつでも入園可能で、看護師が常駐しているのも心強いところです。



病棟全員で患者さんと向き合い 人を育てる環境で、日々経験を積む

私が、中央病院で看護師人生を始めようと決意したのは、インターンシップの際、集中治療室の先輩方の姿勢に感銘を受けたからです。がん向き合い、闘う患者さんの力を引き出し、回復を助けるにはどうすればよいか。全員で考え、質の高い看護を実践する姿に魅了されました。集中治療室には全診療科の患者さんが入室するため、必要な知識や技術が多く、最初は不安でした。しかし、確実に習得できる教育体制と病棟全体でのフォロー体制が整っているので、学習内容と自分の経験を結びつけながら患者さんとかかわることができます。今後も急変対応力を磨き、化学療法や造血幹細胞移植なども広く学びながら、最先端のがん治療を支える看護師を目指します。

集中治療室

木村 華子

札幌医科大学卒 2018年入職

中央病院の看護師に話を聞いてみました！



手術室



西俣 竜星

純真学園大学卒 2018年入職

プロ意識を持ってチーム医療に参加 がん治療の一場面を全力でサポートする

患者さんにとって、手術はがん治療の一場面ではありません。入院に至るまでの経緯や手術までの検査・治療という過程があるのはもちろん、手術が終わった後も治療は続きます。その中の一場面を全力でサポートするのが、私たち手術室の看護師です。周術期の医療は外科医・麻酔科医・臨床工学士などと協働して行います。だからこそ、一人ひとりがプロ意識を持ち、チーム医療に参画することが求められます。患者さんは術中、全身麻酔の影響で眠っていますから、なおさら誠実に向き合う姿勢が大切です。チーム内での役割を全うすることは、他職種からの信頼に繋がり、結果としてやりがいも得られます。

がん専門病院での学び・経験を 患者ケアに最大限反映させる看護のジェネラリストへ

私が中央病院に就職したのは「手術件数が多く、周手術期看護を学びたい」という気持ちがあったからです。入職後、最初の7年間はICUで高侵襲手術を受けた患者さんへの対応やさまざまなオンコロジックエマージェンシー症例を経験。「全身を見る」ことの大切さを学んだ時期でした。その後は病棟に異動となり、患者さんの回復過程を見守りながら、社会復帰の支援やがんサバイバーとして生活するための支援に携わり、病棟看護の役割の重要性を痛感しました。東病院に2年間異動した経験もあり、がん看護に従事する看護師としての視野が広がりました。現在は当院のがん看護専門コースで化学療法や放射線療法の知識を深めています。今後も看護のジェネラリストについて探求を続けていきます。

頭頸部内科/外科・食道外科・呼吸器内科



柳井 利仁

国立看護大学校卒 2009年入職

患者さんが安心して医療を受けられる環境を 全職員でつくるための橋渡し役になる

医療安全管理部感染制御室では、院内感染の防止と感染対策推進を目的に、臨床現場の問題やニーズに応じて、部署の垣根を越えて横断的な活動を行っています。当院の患者さんは、手術や化学療法、放射線治療によって抵抗力が低下し、感染を起こす可能性の高い方々です。だからこそ、全職員一体となった感染対策が重要です。私たちは、直接患者さんと接する機会こそ少ないですが、多職種と関わり感染対策を推進する中で、患者さんが安心して医療を受けるための環境づくりに貢献していると感じます。感染対策は一人ではできません。今後も院内の橋渡し役として、全職員が共同して感染を予防できるよう、つながりの強化に貢献していきたいです。

医療安全管理部・感染制御室



室谷 美々子

感染管理認定看護師
大阪府立看護大学卒 2009年入職

じっくり患者さんに向き合える職場
感謝の言葉にやりがいを実感

東病院に入職を決めた理由は、雰囲気が温かく、院内教育が充実していて、最先端の治療や看護を学ぶことができると感じたからです。部署間の風通しが良く、患者さんやご家族にとって最善の治療や療養環境について常にチームで考え、関わるができることが魅力です。患者さんにとって、関わる時間の最も長い看護師は医療者の中で最も近い存在です。医師には相談できない悩みを打ち明けていただき、「看護師さんに聞いてもらってよかった」とお言葉をいただくと、チームの橋渡し役でもある看護師としてとてもやりがいを感じます。今後は認定看護師の資格取得を視野に入れ、より専門性の高い看護を実践していきたいと考えています。

消化器外科・内科
泌尿器外科 肝胆膵外科・内科

三浦 玲奈
東北大学卒 2017年入職

東病院の看護師に話を聞いてみました！



最先端治療を支える手術看護を勉強し
患者さんからも医師からも頼られる存在になりたい

私は就職先の条件として、職場の雰囲気を第一に考えていました。手術室でのインターシップを通じて、多職種がチームとして患者さんに全力で向き合う姿に憧れを抱くと同時に、最先端の手術看護を勉強できる点にも魅力を感じました。手術室では、手術の進行状況を考えながら外科医に器具を渡す器械出し看護と、術前から患者さんの思いに寄り添い、チームの調整役を担う外回り看護に携わっています。手術を終えた患者さんから「無事に終わったのね」と安堵の声を聞くたびに、この仕事にやりがいを感じます。最先端の環境で学び、患者さんからも医師からも信頼される手術室看護師になりたいです。

手術室



藤松 咲希

国際医療福祉大学福岡看護学部卒 2018年入職

緩和ケアのスペシャリストとして自己研鑽を続け
将来は老人看護専門看護師を目指したい

私は、治験・消化器内科・乳腺外科病棟で看護師としての基本とがん治療を学んだ後、緩和ケア病棟に配属になりました。当院の緩和ケア病棟は症状をコントロールして自宅や地域に戻れるような支援をするところに特徴があります。院内研修のスペシャリストコースで認定看護師から実践的にがん看護を学んでいたことが、今の看護実践にとっても役立っています。最近では、患者さんやご家族も高齢者が多く、意思決定やサポート不足など、多くの課題があると感じています。今後はより広い視野で論理的に考える力を養い、後輩の育成や高齢化社会に貢献できる老人看護専門看護師の資格取得を目指しています。

緩和ケア病棟



藤本 遼

国立看護大学校卒 2014年入職

若年層の女性患者さんの相談窓口として
将来を見据えた支援を目指す

2018年9月、東病院にレディースセンターが開設されました。私はがん看護専門看護師として、同センターの女性看護外来で、幅広い年代のがん患者さんの悩みに寄り添い、相談業務に携わっています。思春期・若年成人のがん患者さんが増えている今、進学や就職、結婚や出産・子育てなど、さまざまなライフイベントに合わせた治療や、その人がその人らしくいるための生活支援が必要です。「将来、子供を持つことができる?」「治療しながら仕事や子育てと両立できる?」などの悩みを抱える女性がん患者さんに対し、がん治療を乗り越えた後の将来も見据えながら、「その人らしい人生」を支えるような看護を提供していきたいと思っています。

女性看護外来



千葉 育子

がん看護専門看護師
国際医療福祉大学卒
筑波大学大学院修了 2009年入職

私のオフタイムを公開します



大鶴 璃奈
 国立看護大学校卒
 2018年入職
 泌尿器・後腹膜腫瘍科・
 大腸外科・消化管内視鏡科

病院に隣接した宿舎の立地は抜群 仕事後に銀座で気分転換することも



都心で自立した生活を送る

職員宿舎は病院に隣接しているので、毎日の通勤は全く苦になりません。銀座や新橋は徒歩圏内ですし、築地市場駅や東銀座駅も近いので、遊びに行く時もとても便利です。

宿舎といってもプライバシーは保たれているので、自立した生活を送ることができています。休日はスーパーで食材を買って家で料理を楽しんだり、友達と出かけたりしています。

同期と過ごす時間が励みに

宿舎での生活で欠かせないのが、同期の存在です。仕事後、家に集まって勉強をしたり、お酒を飲んだり、休日に出かけたりと、すぐに同期が集められる宿舎生活はとても楽しいです。学びを共有し、知識や手技と一緒に勉強してモチベーションを向上させています。

もちろん、他の病棟で働く同期や先輩とも気軽に話ができます。ワークライフバランスを保ちながら、看護師としてスキルアップできるよう日々励んでいます。

食もおしゃれも文化も何でも揃う華やいだ街

Area Map [近隣情報]

新旧の文化が融合し、都会でありながら大人の雰囲気のある街に建つ中央病院。遊びや食事、ショッピングなどを楽しめる銀座・築地エリアにあり、職場と都会の生活を無理なく行き来することができる贅沢な立地です。



銀座四丁目交差点



築地場外市場



浜離宮恩賜庭園の桜

福利厚生

- **休暇制度**：年次有給休暇、夏季休暇、慶弔休暇、産前・産後休暇、育児休業、介護休業など
- **社会保険**：厚生労働省第二共済組合
- **職員食堂**：眺めのよいレストランと職員食堂あり
職員食堂はビュッフェ形式でメニューが毎日変わります。
- **保育施設**：24時間保育が可能
- **職員宿舎**：鉄筋コンクリート(RC構造)ワンルーム型
冷暖房完備・オートロック・管理人常駐
- **図書館**：蔵書数:約80,000冊・看護系雑誌:19誌
- **ユニフォーム貸与**：白衣・ナースシューズ
- **育児支援**：産前・産後休暇、育児休業のほか、育児のための短時間勤務など、働きながら子育てを応援する支援制度を整えています。



職員宿舎



保育園



職員食堂



図書館

私のオフタイムを公開します



緑が多くゆったりとした環境 駅もショッピングセンターも近くて便利です



秋吉 佑美
関西医療大学卒
2018年入職
乳腺腫瘍内科・血液腫瘍内科・
消化器内科病棟

暮らしやすい街で自炊も難しく継続

寮は病院からは徒歩20分くらいで、柏の葉キャンパス駅や「ららぽーと柏の葉」のすぐ近くにあり。まだ新しく、一軒家のようなおしゃれな建物で、自分の部屋に帰るととても落ち着けます。周囲には緑が多くゆったりとした雰囲気なものも気に入っています。一人暮らしは初めてですが、健康のためにがんばって自炊をし、日勤の日はお弁当をつくって持参しています。病院と寮の間にスーパーもあるので食材や日用品の買い物も便利です。

同期と先輩に恵まれ幸せな毎日

休日の楽しみは、同期や大学の友達と会うこと。いまだという看護をし、どんな勉強をしているのかお互いの状況を話したり、悩みを語って励まされたり励ましたり、いつも話がつきません。同じ寮にも同期がたくさんいて楽しいです。東病院には、とても優しく、尊敬できる先輩がいっぱいいます。私ももっと知識と技術を磨き、何でも教えられる先輩になれたらと思います。

緑豊かな公園と大型商業施設を有した学術都市

Area Map [近隣情報]

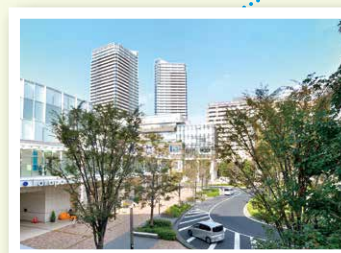
総合競技場や植物園などを備えた県立柏の葉公園が広がる緑豊かな街です。自転車やバスなどで少し足を延ばせば、ショッピングモールやデパートなど便利な施設が数多く揃っています。秋葉原や東京まで電車で約30分とアクセスが良いのも魅力です。



柏の葉公園総合競技場



柏の葉公園



柏の葉キャンパス駅前



福利厚生

- **休暇制度**：年次有給休暇、夏季休暇、慶弔休暇、産前・産後休暇、育児休業、介護休業など
- **社会保険**：厚生労働省第二共済組合
- **職員食堂**：眺めのよいレストランと職員食堂があります。
- **保育施設**：24時間保育が可能
- **職員宿舎**：鉄筋コンクリート(RC構造)・冷暖房完備
院内 ワンルーム型
院外 新築・バス・トイレ独立型宿舎を希望して入寮できます。
- **図書館**：蔵書数約70,000冊、看護系雑誌16誌
- **ユニフォーム貸与**：白衣・ナースシューズ
- **育児支援**：産前・産後休暇、育児休業のほか、育児のための短時間勤務など、働きながら子育てを応援する支援制度を整えています。



職員宿舎



保育園



図書室



教育研修棟